

お茶の水女子大学学报

第 29 号

お茶の水女子大学庶務課発行



理学部新校舎（第二期工事）

目 次

関係法令	-----	1
人事	-----	2
学事	-----	5
通知	-----	8
日誌(抄)	-----	8
諸報	-----	10

関係法令

【法律】

○国家公務員災害補償法の一部を改正する法律（法律第26号，4月26日官報）

【省令】

○支出官事務規程等の一部を改正する省令（大蔵省令第7号，3月27日官報）

- 教科書の発行に関する臨時措置法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第3号，3月28日官報）
- 図書館法施行規則の一部を改正する省令（文部省令第5号，3月29日官報）

【規則】

- 期末手当及び勤勉手当の一部を改正する規則（人事院規則9-40，2月8日官報）
- 俸給等の支給の一部を改正する規則（人事院規則9-8，3月27日官報）
- 初任給，昇格，昇給等の基準の一部を改正する規則（人事院規則9-8，3月27日官報）
- 最高号俸をこえる俸給月額を受ける職員の昭和42年改正法附則第14項の規定に基づく俸給月額に関する規則（人事院規則9-50，3月27日官報）
- 職員の任免の一部を改正する規則（人事院規則8-12，4月1日官報）
- 行政職俸給表(一)の8等級の官職等への任用候補者名簿による職員の任用に関する特例等の一部を改

正する規則（人事院規則 8—13、4月1日官報）

【訓 令】

○文部省所管旅費規則の一部を改正する訓令（文部 1，2月3日官報）

人 事

○人事異動

◎昭和43年 2月 1日

文部教官（教授理学部） 岡 徹
理学部長に併任する
任期は昭和44年 3月31日までとする
評議員に併任する
任期は昭和44年 3月31日までとする

◎昭和43年 2月21日

富田 玲子
文部教官（附属高等学校教諭）に臨時的に任用
する
任期は昭和43年 4月 2日までとする

◎昭和43年 3月 1日

文部教官（教授理学部） 西 三重雄
広島大学教授理学部配置換する

◎昭和43年 3月31日

文部事務官（庶務課庶務係長）橋田 弘久
文部教官（附属高等学校教諭）天井 陸三
同（同）熊野 和子
同（附属小学校養護教諭）
星合 昌子
同（附属幼稚園教諭）菊池フジノ
用務員（附属幼稚園）山内のふ江
文部教官（助手家政学部）富脇 靖子
用務員（家政学部）白根 ミナ
辞職を承認する

◎昭和43年 4月 1日

加藤 健次
北郷 治恵
奴賀 義道
文部事務官（庶務課）に採用する
藤永 保

文部教官（助教授文教育学部）に採用する

太田 裕子
藤田 順子
鶴田 幸子

文部教官（附属高等学校教諭）に採用する

柿沼 利昭

文部教官（附属中学校教諭）に採用する

宮崎 淳子

文部教官（附属小学校教諭）に採用する

高橋 初美

文部教官（附属小学校養護教諭）に採用する

一柳 和子

文部教官（附属幼稚園教諭）に採用する

赤堀 マキ

用務員（附属幼稚園）に採用する

高村 幸男

竹内 順治

文部教官（助教授理学部）に採用する

清水 碩

文部教官（講師理学部）に採用する

柏田 豊子

西谷 順子

文部教官（助手理学部）に採用する

桐淵 壽子

文部教官（助手家政学部）に採用する

近藤紀美子

文部教官（助手家政学部附属食物化学研究施設）
に採用する

石井 兼吉

用務員（家政学部）に採用する

文部事務官（厚生課長） 三浦 徳勝
学生課長に配置換する

文部事務官（図書館短期大学事務長）

黒川喜八郎

厚生課長に配置換する

文部教官（北海道大学教授文学部）

茅野 良男

同（山梨大学教授教育学部）

渡辺 卓

教授文教育学部に配置換する

文部教官（新潟大学助教授人文学部）

杉本 正哉

助教授文教育学部に配置換する

文部教官(助手文教育学部) 外山 友子
文部技官(文教育学部)に配置換する

文部事務官(学生課長) 広中益次郎
文教育学部事務長に配置換する

文部教官(附属中学校教諭)加藤 章
附属高等学校教諭に配置換する

文部事務官(理学部) 森田 朝子
附属高等学校に配置換する

文部事務官(附属高等学校事務主任)
佐藤 悦
附属図書館に配置換する

文部教官(東京大学助心理学部)
大橋 陽子
助心理学部に転任させる

文部教官(岐阜大学助手工学部)
小田切美渚子
助手家政学部転任させる

文部教官(助教授文教育学部)
和田 久徳
同 (同) 小口 忠彦
同 (東京教育大学助教授文学部)
外山滋比古
教授文教育学部に昇任させる

文部教官(講師文教育学部)大口勇次郎
助教授文教育学部に昇任させる

文部教官(助教授理学部) 岡嶋 正枝
教授理学部に昇任させる

文部教官(講師理学部) 米田 満樹
同 (東京大学助手物性研究所)
伊藤 厚子

助教授理学部に昇任させる
文部教官(助心理学部) 小山 敏子
同 (同) 前田 侯子
講師理学部に昇任させる

文部教官(助教授文教育学部)園田 恭一
東京大学助教授医学部に配置換する

文部事務官(文教育学部事務長)
小池 芙蓉
小山工業高等専門学校会計課長に配置換する

文部事務官(庶務課) 斎藤 正俊
東北大学に出向させる

文部教官(助心理学部) 西原千鶴子

工業技術院東京工業試験所に出向させる

文部教官(教授文教育学部)中村 一良
附属中学校長に併任する
任期は昭和47年3月31日までとする

文部教官(教授家政学部) 稲垣 長典
家政学部附属食物化学研究施設長に併任する
任期は昭和45年3月31日までとする

文部教官(附属幼稚園教諭)村田 修子
附属幼稚園教頭に併任する

文部教官(東京大学助教授医学部)
園田 恭一

助教授文教育学部に併任する
任期は昭和44年3月31日までとする

文部教官(附属高等学校教諭) 嶋田 幸子
助手文教育学部に併任する
任期は昭和45年3月31日までとする

文部教官(附属中学校教諭) 柿沼 利昭
附属高等学校教諭に併任する
任期は昭和44年3月31日までとする

文部教官(附属中学校教諭)加藤 章
附属高等学校教諭の併任を解除する

文部教官(助心理学部) 亀井 理
休職の期間を昭和43年9月30日まで延長する

文部教官(教授文教育学部) 副島 民雄
同 (同) 西崎 一郎
同 (教授理学部) 林 太郎
同 (同) 大槻 虎男
昭和43年3月31日限り停年により退職した

◎昭和43年4月3日

文部教官(附属高等学校教諭) 畠田 玲子
臨時的任用を更新する
任期は昭和43年5月14日までとする

◎昭和43年4月6日

矢部 愛子
文部教官(附属小学校教諭)に臨時的に任用する
任期は昭和43年5月17日までとする

◎昭和43年4月15日

文部技官（施設課） 武内 富夫
 用務員（附属図書館） 関口 満
 辞職を承認する

◎昭和43年 4 月20日

文部技官（家政学部） 中島 温子
 辞職を承認する

◎昭和43年 4 月21日

文部教官（助手家政学部附属食物化学研究施設） 相坂 浩子
 文部技官（家政学部）に配置換する

◎昭和43年 5 月 1 日

文部事務官（会計課） 高田 滋郎
 会計課管財係長に昇任させる
 文部事務官（会計課） 高橋 傳
 学生課課外活動係長に昇任させる
 文部教官（東京大学助手教養学部） 石川 宏
 講師文教育学部に昇任させる

文部事務官（会計課出納係長）添谷 東吾
 庶務課庶務係長に配置換する

文部事務官（会計課管財係長）菊川 勝郎
 会計課出納係長に配置換する

文部事務官（附属中学校事務主任） 石井 靖子
 附属高等学校事務主任に配置換する

文部事務官（学生課課外活動係長） 高木 敏裕
 附属中学校事務主任に配置換する

文部事務官（庶務課） 加藤 健次
 会計課に配置換する

文部事務官（帯広畜産大学会計課） 日野 静雄
 会計課に転任させる

文部事務官（附属小学校） 菊池 昭夫
 文部省へ出向させる

○名誉教授

◎昭和43年 4 月 1 日

元教授理学部 林 太郎

元教授理学部 大槻 虎男
 名誉教授の称号を授与する

○学科主任

◎昭和43年 1 月 1 日

教授 伊関兼四郎
 数学科主任を命ずる

教授 西 三重雄

数学科主任を免ずる

◎昭和43年 3 月 2 日

教授 渡辺 俊男
 教育学科体育学専攻主任を命ずる

教授 林 巖

教育学科体育学専攻主任を免ずる

◎昭和43年 4 月 1 日

教授 渡辺 光
 地理学科主任を命ずる

教授 松井 勇

地理学科主任を免ずる

教授 石黒 英一
 物理学学科主任を命ずる

教授 坂上 治郎

物理学学科主任を免ずる

○学内委員

委員会名	委員名	任期
教 務	周郷 博文・教授	43.4.1~45.3.31
	中西 正城 理・"	"
	稲垣 長典 家・"	"
一般教育	木原 研三 文・"	43.1.17~44.9.30
	阿阪 三郎 理・"	43.2.1~43.9.30
	湯沢 雅彦 家・助教	43.4.1~45.3.31
教職課程及び教育実習	和田 久徳 文・教授	43.4.1~44.9.30
	中西 正城 理・"	"
幼教運営	波多野完治 文・教授	43.4.1~45.3.31
	津守 真 家・助教	"
大 学 院	渡辺 光 文・教授	43.4.1~45.3.31
	木原 研三 文・"	"
予 算	井本 農一 文・"	43.4.1~44.3.31
	福場 博保 家・"	"
学 生	浅井 辰郎 文・"	43.4.1~44.3.31
	瀬野 信子 理・助教	"
	小林 彰夫 家・"	43.4.1~44.3.31

委員会名	委員名	任	期
学 寮	市川 孝	文・助教授	43.4. 1~44. 3. 31
	松田千鶴子	理・〃	〃
	浅見千鶴子	家・〃	〃
附属図書 館運営	松井 勇	文・教授	43.4. 1~45. 3. 31
	次田 真幸	文・〃	〃
	立花 俊一	理・〃	〃
	橋爪 夏樹	理・〃	〃
	谷田 関次	家・〃	〃
	五十嵐 脩	家・助教授	〃
附属学校 運営	市古 宙三	文・教授	43.1. 17~45. 1. 16
施設計画	吉田 昇	文・〃	43.2. 21~45. 2. 20
	阿阪 三郎	理・〃	43.4. 1~45. 3. 31
	荒木 忠雄	理・〃	〃
	辻村 泰男	家・〃	〃
	矢部 章彦	家・〃	〃
レクリエ ーション	北折 昭一	庶務課長	43.4. 1~44. 3. 31
	丸茂 照明	会計課長	〃
	塩野 栄吉	施設課長	〃
	三浦 徳勝	学生課長	〃
	黒川喜八郎	厚生課長	〃
	波多野完治	文・教授	〃
	山中 茂子	文・講師	〃
	広中益次郎	文・事務長	〃
	桜井 孝行	高・教諭	〃
	西 順一	中・〃	〃
	本田 敏子	小・〃	〃
	村井 トミ	幼・〃	〃
	中西 正城	理・教授	〃
	小川 幸也	理・事務長	〃
	伊藤 秋子	家・助教授	〃
	三輪 誠	家・事務長	〃
竹内 和子	図・〃	〃	

学 事

○昭和42年度卒業生・修了者

文教育学部	149名
哲学科	10
史学科	20
地理学科	17

文学科	
国文学・国語学専攻	27名
中国文学・中国語学専攻	5
英文学・英語学専攻	24
教育学科	
教育学専攻	25
体育学専攻	11
音楽教育学専攻	10
理学部	69
数学科	19
物理学科	12
化学科	18
生物学科	20
家政学部	63
児童学科	24
食物学科	19
被服学科	20
計	281
専攻科	
文教育専攻科	2
幼稚園教員臨時養成課程	34
大学院	
人文科学研究科	16
理学研究科	9
家政学研究科	17
合 計	359

○昭和43年度入学生数

文教育学部	170名
哲学科	16
史学科	23
地理学科	16
文学科	
国文学・国語学専攻	28
中国文学・中国語学専攻	9
英文学・英語学専攻	29
教育学科	

教育学専攻	30名	食物学科	1名
体育学専攻	6	幼稚園教員臨時養成課程	31
音楽教育学専攻	13		
理学部	102	大学院	
数学科	29	人文科学研究科	28
物理学科	25	哲学専攻	4
化学科	24	史学専攻	3
生物学科	24	地理学専攻	3
		日本文学専攻	5
家政学部	103	中国文学専攻	2
児童学科	28	英文学専攻	5
食物学科	22	教育学専攻	6
被服学科	30		
家庭経営学科	23	理学研究科	13
		数学専攻	4
編入学・学士入学・再入学	13	物理学専攻	3
文教育学部	6	化学専攻	2
哲学科	1	生物学専攻	4
史学科	1		
体育学専攻	4	家政学研究科	17
理学部	2	児童学専攻	4
数学科	2	食物学専攻	7
家政学部	5	被服学専攻	6
児童学科	4	合計	477

昭和42年度就職状況

43.3.30. 現在

学部	項目 学科	卒業 者数	進学 者数	就職 しない 者の 数	就職 希望 者	就 職 先										就職 内定 者	就職 率 %		
						教 育 職			官 公 庁	会 社		銀 行	放 送	図 書 館	そ の 他				
						国 公 立	私 立	計		一 般 事 務	研 究 室								
文 教 育 学 部	哲 学	10	2	2	6	2	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6	100
	史 学	20	5	4	11	1	3	4	0	4	0	0	0	0	3	0	11	100	
	地 理	17	2	3	12	3	3	6	5	0	0	0	0	1	0	12	100		
	文 学	国 文	27	3	5	19	7	4	11	0	4	0	0	0	4	0	19	100	
		中 文	5	2	0	3	2	0	2	0	0	0	0	0	1	3	100		
		英 文	24	2	3	19	1	5	6	0	10	0	1	0	2	0	19	100	
	教 育	教 育	25	3	2	20	8	1	9	2	7	0	0	1	1	0	20	100	
		体 育	11	2	3	6	3	1	4	0	1	0	0	1	0	0	6	100	
音 楽		10	0	0	10	9	0	9	0	1	0	0	0	0	10	100			
小 計	149	21	22	106	36	18	54	7	29	0	1	2	12	1	106	100			
理 学 部	数 学	19	1	5	13	6	2	8	0	0	2	2	0	1	0	13	100		
	物 理	12	5	0	7	3	0	3	2	0	2	0	0	0	0	7	100		
	化 学	18	2	0	16	5	2	7	2	0	7	0	0	0	0	16	100		
	生 物	20	4	2	14	6	6	12	1	0	1	0	0	0	0	14	100		
	小 計	69	12	7	50	20	10	30	5	0	12	2	0	1	0	50	100		
家 政 学 部	児 童	24	4	4	16	8	2	10	3	0	3	0	0	0	0	16	100		
	食 物	19	5	1	13	4	3	7	2	0	4	0	0	0	0	13	100		
	被 服	20	6	2	12	1	1	2	0	0	8	0	0	2	0	12	100		
	小 計	63	15	7	41	13	6	19	5	0	15	0	0	2	0	41	100		
總 計	281	48	36	197	69	34	103	17	29	27	3	2	15	1	197	100			

昭和42年度主なる就職先一覧

教 育 職 関 係 (国 公 立)	都立八丈高校(被) ◇ 中野工業高校(地) 愛知県立昭和高校(国) ◇ 明和◇(英) ◇ 大府◇(生)	東京女子大助手(化) 東京女子医大助手(生)
	広島県立誠之館高校(国) 神奈川県立川崎高校(中文) 千葉県立東金高校(数) 大宮市立南高校(英) 川口市立芝中学校(中文) お茶大付属小学校(教) ◇ 幼稚園(児) 茨城大付属幼稚園(児) 東京都公立小学校(教3 音3 児3) お茶大助手(化2 食1) 阪大蛋白研究所(生) 千葉大医学部助手(化, 生) 東大工学部助手(物2) 東大応用化学助手(化) 岡山大医学部助手(英) 一橋大社会学部助手(地) ◇ (児) 医科歯科大助手(食)	出版 関係 係 銀 行
		早川書房(史) リーダーズダイジェスト(史) 吉川弘文館(史) 講談社出版研究所(地, 被) 文理書院(国) 旺文社(英) 勁草書房(英) 暮しの手帳社(教) 日本評論社(数) 学研(被) 風樹会(国3)
		日本開発銀行(数) 長期信用銀行(数) 東京銀行(英)
教 育 職 関 係 (私 立)	櫻蔭学園(地, 史) 上野学園(史) 清泉女学院(地) 光塩女学院(国) 田園調布双葉(国) 日の出学園(国) 北鎌倉高校(英) 東京成徳学園(教) 桐朋学園(数) 森村学園(数) トキワ松学園(化) 静岡双葉(体) 成美学園(生) 鎌倉女学院(生) 四ッ谷双葉(児2) 鹿児島純心(食) 山梨学園大学(食) 慈恵医大助手(生) 慶応大助手(生)	官 公 庁
		国立予防衛生研究所(食) 東京都民生局(児) 児童館(数) 海洋研(物2) 専売公社中研(化, 食) 科学警察研究所(化) 虎ノ門病院(生) 群馬県庁上級職(児) 秋田県社会福祉上級職(児) 名古屋家庭裁判所(教)
		放送 関係
		会 社 関 係
		日清製油(哲) アラビア石油(哲) 日本航空(史2 地 英2 教2) 三菱化成(史) 資生堂(地, 食) レミントンユニバック(地, 数) 電通(地) ロッテ商事(国) 日清紡績(国) 日立亀戸工場(国) 日立習志野工場(児) 不二サッシ(国) 三井石油化学(英, 数) 三井化学(英) 第二精工舎(英) 国際電々(英2)

東芝ベックマン (英) 荏原インフィルコ (英) 国際空港 (教) マッキャンエリクソン博報堂 (教, 被) 日本コロムビア (音) 理研 (物 2) 味の素中央研究所 (化 3) 日立中央研究所 (化) 旭化成 (化)	会 社 関 係 帝国人絹 (化) 長谷川香料 (化, 食) クノール食品 (食) 協和醸酵 (食) ライオン油脂 (被) 明治乳業 (被) 蝶理 (被 2) 日産化学 (被) 旭電化工業 (被)
--	---

○学位取得

理学部助手 川合由美子

学位 理学博士

論文 *Mucopolysaccharides from the
Connective Tissues of the Squid,
Ommastrephes sloani Pacificus.*

昭和43年3月29日 名古屋大学

通 知

◎1969—70年度フルブライト計画による申請者の募集について

在日合衆国教育委員会は、米国対外奨学委員会と国務省との協力のもとに、米国において5カ月の短期および10カ月の長期間、学術分野に関する高度な研究を行なおうとする日本人学者若干名に対して支給される奨学金の申請を募集する。

A. 短期奨学金

5カ月の短期奨学金は、米国研究を主題とした社会科学および人文科学のすべての分野、および外国語としての英語教育の分野で特定の研究課題を有する者を対象とする。応募者は、日本の大学において、教授または助教授の地位をもつ者で、すでに少なくとも9カ月米国に留学した経験のあるものに限る。

B. 長期奨学金

10カ月の長期奨学金は、社会科学および人文科学の分野において単独研究の課題を持つ者、あるいは米国の学者との協同研究課題を持つ者を対象とする。

応募者は、博士号または日本の大学で助教授以上の地位を有するものとする。

共同研究の場合には、米国の学者と連帯で応募すること。

1. 待遇

月額540ドル(194,400円)の給与、往復旅費および健康傷害保険費を含んだ奨学金を支給する。

本委員会が推薦した者は、米国にある学術委員会によって、米国大学の在籍を斡旋される。奨学期間は原則として一年間に限られているが、正当な理由がある場合には、滞途の旅費支給の権利を3年間まで延長することが可能である。

2. 応募資格

- (1)日本国籍を有すること。
- (2)1913年10月1日以降の出生者。
- (3)推薦された者は、渡米までに、米国でそれぞれの専門分野における研究に従事するに十分な英語能力を取得すること。この奨学金の応募者に対する個人面接は、英語で行なわれる。

3. 登録

登録カード、および申請用紙は左記の在日合衆国教育委員会へ、直接または郵便で請求すること。記入済みの登録カードは直ちに、また申請用紙は1968年10月1日までに在日合衆国教育委員会へ提出すること。

予備選考の結果、応募資格を有すると認められた者には秋に予定されている個人面接の日時を通知する。

※詳細については庶務課庶務係へお問い合わせ下さい。

日 誌 (抄)

2月1日(木) 大学入試願書受付, 附属幼稚園第二次検定

2日(金) 入試委員会, 教務委員会, 附属中学校長選考委員会

3日(土) 附属幼稚園合格者発表

4日(日) 附属中学校第一次検定

5日(月) 学生委員会, 学寮協議会

7日(水) 教授会(理), 教官選考会議(理), 附属中学校第二次検定

9日(金) 附属中学校合格者発表

10日(土) 大学入試願書締切

12日(月) 学生委員会, 学寮委員会, 学寮協議会

13日(火) 電子計算機室運営委員会

14日(水) 評議会

14日(水) } 関東甲信越地区国立大学会計部課
15日(木) } 長会議

16日(金) 学生会館臨時運営委員会

17日(土) 学寮委員会, 学寮協議会

19日(月) 学生委員会, 学生協議会, 学寮協議会

20日(火) 関東甲信越地区国立大学事務局長会議

21日(水) 教授会(理), 教官会議(理)

23日(金) 附属学校運営委員会

24日(土) 学寮委員会, 学寮協議会

26日(月) 学生委員会

27日(火) 一般教育委員会, 卒業修了者判定会議(家)

28日(水) 卒業・修了者判定会議(文・理), 教授会(理), 教官会議(理), 研究科委員会(理)

3月1日(金) 入試委員会, 教務委員会, 学寮委員会, 学寮協議会

3日(日) }
4日(月) } 大学入学試験
5日(火) }

7日(木) 入試委員会

11日(月) 予算委員会, 学寮委員会, 学寮協議会

12日(火) 食化研運営委員会

13日(水) 評議会, 学生委員会, ヘルセンター医師懇談会

15日(金) 附属中学校卒業式

3月16日(土) 各学部教授会, 研究科委員会(理)

17日(日) 大学入試合格者発表

19日(火) 附属幼稚園卒業式

20日(水) 附属高等学校卒業式

21日(木) 附属学校運営委員会

22日(金) 大学卒業式, お別れの会, 国立大学学生部事務連絡会議(於教育会館)

23日(土) 附属小学校卒業式

25日(月) 教授会(理), 研究科委員会(理)

27日(水) 評議会, 教授会(家), 教務委員会

28日(木) 教授会(文)

29日(金) 施設計画委員会

4月1日(月) 学寮委員会, 学寮協議会

5日(金) }
8日(月) } 入学手続

8日(月) 附属学校入学式, 施設計画委員会

8日(月) }
9日(火) } 大学合格者健康診断

10日(水) 大学入学式

11日(木) 学寮委員会

11日(木) }
12日(金) } オリエンテーション

12日(金) }
13日(土) } 国立学校施設台帳および実態調査表等作成の地区別説明会(於本学)

13日(土) 学寮委員会, 授業開始

15日(月) 臨海実験所設立準備委員会,

16日(火) 高等学校生徒に対する図書館オリエンテーション

17日(水) 各学部教授会, 第4年次生対象就職指導説明会

18日(木) 学生会館臨時運営委員会, 昭和43年度日本育英会奨学生事務協議会(於日本育英会)

19日(金) (一般会社希望者(文科系))就職懇談会

22日(月) 学生委員会, 学寮委員会, 学寮協議会

23日(火) 一般教育委員会, (国家公務員希望者)就職懇談会

24日(水) 評議会

24日(水) }
25日(木) } 第31回関東甲信越静地区国立学校施設部課長会総会

26日(金) 図書選定委員会, 入試反省会(公

立学校教員希望者)就職懇談会

諸 報

○海外出張

家政学部助教授 荒川信彦

食品栄養化学の研究のためアメリカ合衆国へ出張した。

期間は昭和43年3月25日から、昭和44年3月24日まで。

文教育学部教授 和田久徳

沖縄に存する対外交渉資料(歴代宝案等)の調査研究のため沖縄へ出張した。

期間は3月30日から4月4日まで。

文教育学部助教授 大宮 誠

1968年6月11日より、西独のケルン市にあるヨゼフ・ハイドン研究所において開催される第14回ハイドン研究国際会議に出席し、ハイドンに関する原典資料及び関係楽器の研究、調査、収集のため、トルコ、ギリシャ、イタリア、スペイン、フランス、スイス、オーストリア、西独、オランダ、ベルギー、英国、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、チェコスロヴァキア、ハンガリー、アラブ連合の各国へ出張した。

期間は4月21日から9月10日まで。

○研修旅行

文教育学部教授 柳 宗玄

西洋各地の美術館、博物館等を視察し、美術研究を行うため、アラブ連合、ギリシャ、イタリア、スペイン、スイス、フランス、ベルギー、オランダ、イギリス、ドイツ連邦共和国の各国へ出張した。

期間は3月24日から4月29日まで。

家政学部教授 平井信義

乳幼児の精神医学の実態調査と研究および講演のため、沖縄へ出張する。

期間は5月2日から5月8日まで。

○帰 国

家政学部教授 山西 貞

昭和42年12月23日からセイロン国へ出張中のところ、昭和43年2月5日帰国した。

文教育学部附属小学校教諭 萩原 栄

昭和42年9月14日からアメリカ合衆国へ出張中のところ、昭和43年4月10日帰国した。

文教育学部教授 和田久徳

昭和43年3月30日から沖縄へ出張中のところ、昭和43年4月4日帰国した。

○第一寄宿舎増築工事

3月契約 昭和43年12月完成予定

鉄筋コンクリート造4階建

延面積 1,220.769m²

建築施工 鉄建建設株式会社

電気施工 株式会社電工社

設備施工 株式会社竹村工務店

○内線電話の夜間(交換取扱終了後)使用について

従来交換取扱終了後は内線電話の使用が出来ませんでしたが、今回から下記により内線相互間に限ってのみ通話が出来ようになりました。

記

1. 使用開始日 昭和43年4月25日
2. 終了時間 平日午後9時
土曜日午後7時30分
日曜・祝日 休止
3. 外線との接続および内線電話から学外への通話は一切出来ません。
4. 交換取扱時間終了時に電源スイッチの切替えが行われるため、内線相互間が話中の場合でも接続されずから、時間内に電話の使用を終了するようにご注意ください。

○郵便番号制について

郵便規則が改正され、昭和43年7月1日から郵便番号制が実施されることになりました。

郵便番号とは、日本全国の郵便局の配達受持区域ごとにつけられた3けたの番号で、郵便量の少ない地域には、さらに2けたの子番号を加えて作られています。

このあて先の番号を郵便物の表面に住所、氏名

といっしょに記入していただき、自動読取区分機により分け作業が出来るようにしたものです。

郵便番号制の実施にあたり、下記事項についてご協力をお願いします。

記

1. 7月1日以降に発送する郵便物には必ずあて先の郵便番号を記入する。
2. 今後作成する封筒（定形郵便物の範囲の形状のもの）には一定の場所に郵便番号記入わくを印刷するとともに、差出人の住所の最初に自分の郵便番号を印刷する。

註 定形郵便物とは、

長さ 14cmから23.5cmまで

幅 9cmから12cmまで

厚さ 1cmまで

（ただし、昭和43年12月31日まで、最小限は長さ12cm、幅7cm）

重さ 50gまで

の郵便物のことです。

本学の郵便番号は112です。

○職員住所

【新・転任者住所】

【住所変更】

○職員の電話架設

○電話番号の変更

【住居表示変更】